

2018年度 第37回

DUNLOP SRIXON テニストーナメント山梨県大会

2018年 7月 16日・7月 29日
予備日 8月 5日

会 場 小瀬スポーツ公園テニスコート

連絡・お願い事項

- ① 4月からテニス協会のホームページが新しくなりました。
<<http://www.jyta.jp/yta/>>
- ② 2018年4月1日からルールが一部変更になっております。
内容の確認をしてください。
- ③ スコアについて
ドロウの若い番号が上になるように記録してください。
- ④ 平成31年度から、小瀬でのドロウ配布がなくなります。
必要な人は希望箇所を伝えてください。印刷します。

主 催／山梨県テニス協会

主 管／山梨県テニス協会

後 援／山梨日日新聞社 山梨放送(予定)

協 賛／ダンロップスポーツマーケティング

大会役員

名誉会長	土屋金藏			
大会会長	望月政男			
大会副会長	小野嘉一郎	小島勝一	小林繁	
顧問	太田道夫	飯室訓勇		
大会委員長	小林修			
大会副委員長	小林秀徳	富岡好平	仲沢一雄	
	渡辺旭			
大会委員	石原宏昭	大野兼義	小中恵美	
	神河庄司	鎌田健義	川野充宏	
	永井雄太郎	保坂積	水上浩之	
トーナメントディレクター	小林繁			
レフェリー	渡辺旭			
アシスタントレフェリー	水上浩之			
競技委員	飯田克敏	飯沼保裕	石原宏昭	
	大野兼義	小後貫恭輔	鎌田健義	
	川野充宏	小島佐江子	坂井亮介	
	鈴木裕大	清野仁	田中翔太	
	戸澤克也	土橋飛鳥	長澤辰徳	
	保坂積	堀内喜仁	水上浩之	
	宮川真身	矢崎仁	山下博美	
	若尾貴洋	若尾俊宏	渡辺旭	
	山梨大庭球部員			

(あいうえお順)

■ 注 意 事 項

1. 選手はタイムテーブルの時間に、プレーできる服装になって本部に出席を届けて下さい。
届け出のない場合は失格になります。(時間厳守)
2. 試合方法-試合は、(ダブルス)8ゲーム先取りセミアドバンテージ方式、(シングルス)1セットマッチ
6-6タイブレーク方式とします。
3. 試合球-ダンロップフォートイエローを使用します。
4. 審判は、全てセルフジャッジで行ってください。
5. 試合前のウォームアップは、サービス6本以内とします。2度にわたる注意を受けたプレイヤーは、
双方ともに失格になります。
6. ゲーム中フェンス越しからのコーチは、厳禁です。
7. 当日2度以上試合のある選手で、次のラウンドのコールの時に不在の場合は、失格となります。
食事等により長時間コートを離れる時は、必ず時間を確認してください。
8. 雨天でも行う予定です。必ず諸会場へ来て下さい。電話等の問い合わせは、大会本部 09030078769
です。
9. 次に勝ち進んでいる選手は、試合終了後日程の変更がないかを本部で必ず確認して下さい。
10. 進行ボードをしっかりと確認し、待機コートの後ろでお待ちください。
11. 試合が連続する場合は、前の試合の終了から次の試合の開始まで、最大15分の休憩が取れます。
12. ロービングアンパイアがいる時は、指示に従ってください。

■ 知っておきたいルール (JTA TENNIS RULE BOOK 2018から抜粋)

1. セルフジャッジの方法 (チェアアンパイアがつかない試合方法) P60～

プレーヤー・チームが判定とコールをすることをセルフジャッジと言い、以下のとおり行う。

- 1) サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンスする。プレーヤー同士、アナウンスによってその時点のスコアを確認する。
- 2) ネットより自分側のコートについて判定とコールをする。ボールがラインにタッチした時、ボールとラインの間に空間が見えなかった時、あるいはボールを見失って判定できなかった時は「グッド」である。
ボールとラインの間に、はっきりと空間が見えた時は「アウト」または「フォールト」である。
- 3) 判定とコールは相手にはっきりとわかる声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後速やかに行う。代表的なハンドシグナルは、人差し指を出して「アウト」「フォールト」を示し、手のひらを地面に向けて「グッド」を示す。
- 4) (削除)
- 5) ダブルスの判定とコールは1人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサービスを、1人が「フォールト」、パートナーは「レット(グッド)」とコールした場合は「(サービスの)レット」となる。

- 6) (省略)
- 7) (削除)
- 8) インプレー中、他コートからボールが入って来るなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直す。ただし、以下の場合は適用しない。(以下はQ11より引用)
- ①レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打ったプレーヤー・チームは失点する。
 - ②レットがコールされる前に打たれたボールが、明らかなウィニングショットまたはエースとなった場合は、そのボールを打ったプレーヤー・チームの得点となる。
- 9) インプレー中、プレーヤーがラケット以外の着衣・持ち物を相手コート以外の地面に落とした場合、それが1回目の時は、レットをコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直す。2回目以降、落とすたびにそのプレーヤーが失点する。
- レットのコールは、落とし物をしたプレーヤー・チームがコールすることはできない。ただし、落としたことがプレーに影響を及ぼしていない場合はポイントが成立する。
- 10) スコアが分からなくなった時は、双方のプレーヤーが合意できるスコアまでさかのぼり、それ以降のプレーで総合が合意できるポイントを足したスコアから再開する。合意できなかったポイントは取り消される。ゲームスコアが分からなくなった時も同様に処理する。
- 再開する時のエンドとサーバーは、合意されたスコアに準ずる。ただし、ゲームスコアが訂正され、再開する場合のサーバーは、次の順のサーバーに交代しなければならない。(同じプレーヤーが2ゲーム連続サーバーにはなれない。)
- 11) 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。
- ①試合中、トイレ、着替え、ヒートルールなどでコートを離れる時
 - ②相手プレーヤーの言動やコール、フットフォール等に疑問、不服がある時
 - ③プレーヤー同士で解決できないようなトラブルが起こった時
- 12) メディカルタイムアウトを取りたい時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに申し出る。トーナメントのいない大会ではプレーヤー自身が手当を必要とする状態かどうか確認後、その許可を得て3分以内に処置を行う。
- 13) 試合終了後、勝者は大会本部に試合ボールを届け、スコアを報告する。
- 14) 各判定とコールをする権利者は以下の通りとする。
- a) 「フォールト」「アウト」「グッド」はネットから自分側のプレーヤー・チームのいずれか
 - b) 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は、両プレーヤー・チーム
 - c) 「フットフォールト」はコート内にいるレフェリー(アシスタントレフェリー)、ロービングアンパイアのいずれか
- 15) オーバールール
- 「イン」「アウト」のオーバールールはコート内にいるレフェリー(アシスタントレフェリー)、ロービングアンパイアのいずれかが行える。
- 16) 妨害によるレットのコール

- a)コート外からの妨害による「レット」のコールは両プレーヤー・チームができる。
- b)対戦相手による無意識の妨害（落とし物1回目を含む）は、妨害を受けたプレーヤー・チームのみ「レット」をコールできる。2回目以降は故意に妨害したとして失点する。
- c)対戦相手からの故意の妨害「ヒンダランス」は、妨害を受けたプレーヤー・チームからの申し出によりレフェリー（アシスタントレフェリー）、ロービングアンパイアが判断する。ただし、妨害を認知しながら意識的にプレーを続行した場合は妨害とは見なされない。

17) 誤ったコールを直ちに訂正した場合

インだったボールを誤って「アウト」とコール（ミスジャッジ）したが直ちに訂正（コレクション）した場合は、1回目は故意ではない妨害としてポイントレットにする。ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウィニングショットまたはエースだった場合は、ミスジャッジをしたプレーヤー・チームの失点となる。そして、2回目以降は故意に妨害したとして失点する。

2. ルールオブテニス（P7～一部引用）

規則27. 間違いの訂正

ルールオブテニスにかかわる間違いが発見された時は、間違いに気づくまでに行われたポイントは、原則として全て有効とする。

- c)スタンダード・ゲーム中、サーバーの順番が間違っていたことに気づいた時は、気づきしだい、本来のサーバーに代わる。しかし、気づいた時、すでにゲームが終了していた場合は、入れ替わったままの順番で続ける。間違いに気付いた時、相手がすでに打っていたフォールトは取り消す。

ダブルスで、パートナー同士のサービスの順番が間違っていた場合は、間違いに気付く前に打たれていたフォールトは取り消さない。

規則29. 連続的プレー

原則として、試合開始（試合の最初のサービスがインプレーになった時）から試合が終わるまでは、プレーは連続的に行われる。

- a)ポイントとポイントの間は20秒以内とする。エンドの交代は、90秒以内とする。しかし、各セット第1ゲーム終了とタイブレイク・ゲーム中はプレーが連続しており、エンドを交代する時でも休憩はできない。

3. 試合で起こるQ&A（P52～一部引用）

Q1). 試合中にストリングが切れた場合

- ・ストリングの切れたラケットで新しいポイントをプレーすることはできない。ラリー中にストリングが切れた場合は、ポイントが終わるまでプレーを続ける。
- ・サービスを打った時、サーバーのラケットのストリングが切れた場合、そのサービスがフォールトの場合は、引き続き第2サービスを打っても、あるいはラケットを交換してから第2サービスを打っても構わない。
- ・第1サービスのフォールトのボールを反射的に打ち返した時に、レシーバーのラケットのストリングスが切

れた場合は、レシーバーはラケットを交換しても、しなくても構わない。

①レシーバーが第2サービスの前にラケットを交換した場合は、サーバーに第1サービスが与えられる。

②レシーバーがラケットを交換しない場合は、サーバーは第2サービスを打つ。

Q12). 第2サービスの前に、他コートからボールが転がって来た場合

第2サービスのモーションの前に、足元へ隣のコートからボールが転がってきた場合、妨害されたとは判断しない。ただし、サーバーが第2サービスのモーションに入った後に、ボールが入って来た場合、プレーが妨害されたとして、第1サービスからポイントをやり直す。

4. その他

○セミアドバンテージ方式のやり方（国体ルール）

最初のジュースはスタンダード方式で行い（どちらかがアドバンテージ）、再度ジュースになったときにノーアド方式で行う（レシーバーが最後のポイントのサイドを選択し、次のポイントでそのゲームの勝者を決定する）。

○試合へ遅刻した選手の扱い

遅刻の内容	ト ス	ウォームアップ	試合開始のスコア
一方が 10 分を越える	勝 敗	行 う	ゲームスコア 0-1
双方が 10 分を越える	行 う	行 う	ゲームスコア 1-1
一方が 15 分を越える	ノーショウとなりプレーできない		
双方が 15 分を越える	2人ともノーショウとなりプレーできない		

注) JTA TENNIS RULE BOOK では2018年度より上記の記載がなくなりましたが、山梨県テニス協会ルールとして従来どおり運用します。

■ 服装について

プレーヤーは、清潔でプレーにふさわしいと認められたものを着用しなければならない。試合中ウォームアップスーツ等を着用してもよい。

また、ウェア等の適正はレフェリーが最終判断し、必要に応じて交換・着替えを指示される。

① 着用できない服装

テニス用でないTシャツ、ランニングシャツ、ランニングパンツ、ジーンズその他不適切なウェア等はウォームアップ中でも着用はできない。

② テニスシューズ

プレーヤーは、コート面をいためたり汚したりするおそれのない、テニス専用シューズを履かなければならない。

種目、級のとらえ方

■ 一般シングルス

- A級・・・ポイントランキング男子上位 64番まで、女子上位 32番まで
- B級・・・上級者（自己申告）、A級以外のポイント保持者、C級でベスト 4 の者
- C級・・・中級者（自己申告）、D級でベスト 4 の者（参加数で変更あり）
- D級・・・初級者（自己申告）、E級でベスト 4 の者（参加数で変更あり）
- E級・・・初心者（自己申告）、大人～小学生まで

■ 一般ダブルス

- A級・・・ポイントランキング男子上位 96番まで、女子上位 48番まで、ミックス I級の者
- B級・・・上級者（自己申告）、A級以外のポイント保持者、C級でベスト 4 の者
- C級・・・中級者（自己申告）、D級でベスト 4 の者（参加数で変更あり）
- D級・・・初級者（自己申告）、E級でベスト 4 の者（参加数で変更あり）
- E級・・・初心者（自己申告）、大人～小学生まで

■ 35歳以上シングルス

- G級・・・A級シングルスポイント保持者 35歳ポイントランキング 24番まで
- H級・・・G級以外の者

■ 35歳以上ダブルス

参加本数により級分けをする。

■ 45歳以上シングルス ダブルス

■ 55歳以上シングルス ダブルス

■ 65歳以上シングルス ダブルス

※ 45歳以上、55歳以上、65歳以上は参加本数に応じてリーグ戦方式とする。

■ ミックスダブルス

- I級・・・A級ダブルスポイント保持者 ミックスポイントランキン 24番まで
- J級・・・I級以外の者

■ 参加数により級を合わせることがある。

■ 全日本予選と関東オープン予選はそれぞれの上位大会にあわせ級、年齢別を設定する。

山梨県テニス協会ポイント

■一般男子、一般女子、年齢別シングルス

順位	優勝	2位	B 4	B 8	B 16	B 32	B 64	B 128
県選手権 A 級	200	152	108	68	40	24	12	8
春季・会長杯 冬季・山ト-A級	152	108	68	40	24	12	8	4
B級、H級・冠大会	40	24	12	8	4			

■一般男子、一般女子、年齢別ダブルス

順位	優勝	2位	B 4	B 8	B 16	B 32	B 64	B 128
県選手権 A 級	152	108	68	40	24	12	8	4
春季・会長杯 冬季・山ト-A級 ダンロップ男 A B 級 ダンロップ女 A 級	108	68	40	24	12	8	4	
ダンロップ女子 B-E 級 B 級、H 級、J 級・冠大会	24	12	8	4				

- (1) ポイントは、獲得した大会から1年間有効で更新されていく。
- (2) A・B、G・H、I・J級は、ポイントによる順位で区別されている。
- (3) C、D、E級でベスト4になった者は、進級すること。(参加本数で変更あり)
- (4) シングルスとダブルスは、別のポイントである。
- (5) A級の者は、B級以下には出られない。B級以下の者は、A級には出られない。
- (6) ダブルスで上位の級と組んだ下位の級の者は、上位の級に出なければならない。
- (7) 違反申請をして試合をした者は、参加費を没収し失格とする。

◇ 大会 日 程 ◇

	7月16日	7月29日	8月5日
男子シングルス		1 R → 8:30 2 R → 10:10 3 R → 11:50 4 R (S F) (F)	
男子ダブルス A B 級	1 R → 8:30 2 R → 8:30 3 R → 11:00 4 R (S F) (F)	(S F) 9:20 (F)	
男子ダブルス C D E 級	1 R → 8:30 2 R → 10:10 3 R → 11:50 S F (F)	(F) 9:20	
女子シングルス		1 R → 8:30 2 R → 9:20 S F → 11:00 F	
女子ダブルス A 級	1 R → 8:30 2 R → 10:10 3 R → 11:50 S F (F)	(F) 9:20	
女子ダブルス B C D E 級	1 R → 8:30 2 R → 9:20 S F F		
4 5 才 ダブルス	リーグ戦 9 : 20 全員集合		
M I X ダブルス			1 R → 8:30 2 R → 9:20 S F F

※ (4R) (SF) (F) など () 付きについては、必ず本部で確認してください。

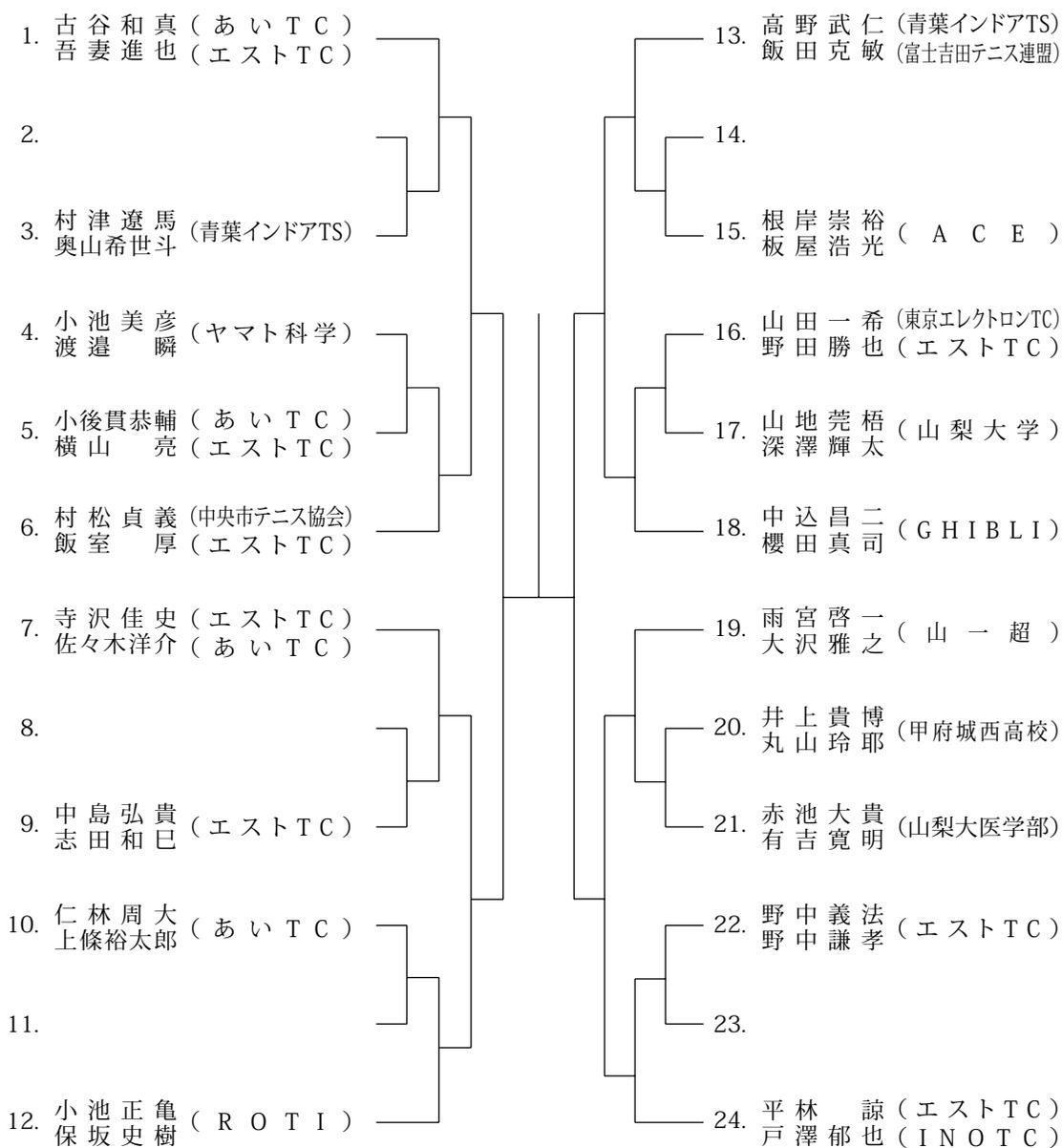
■ 男子シングルス



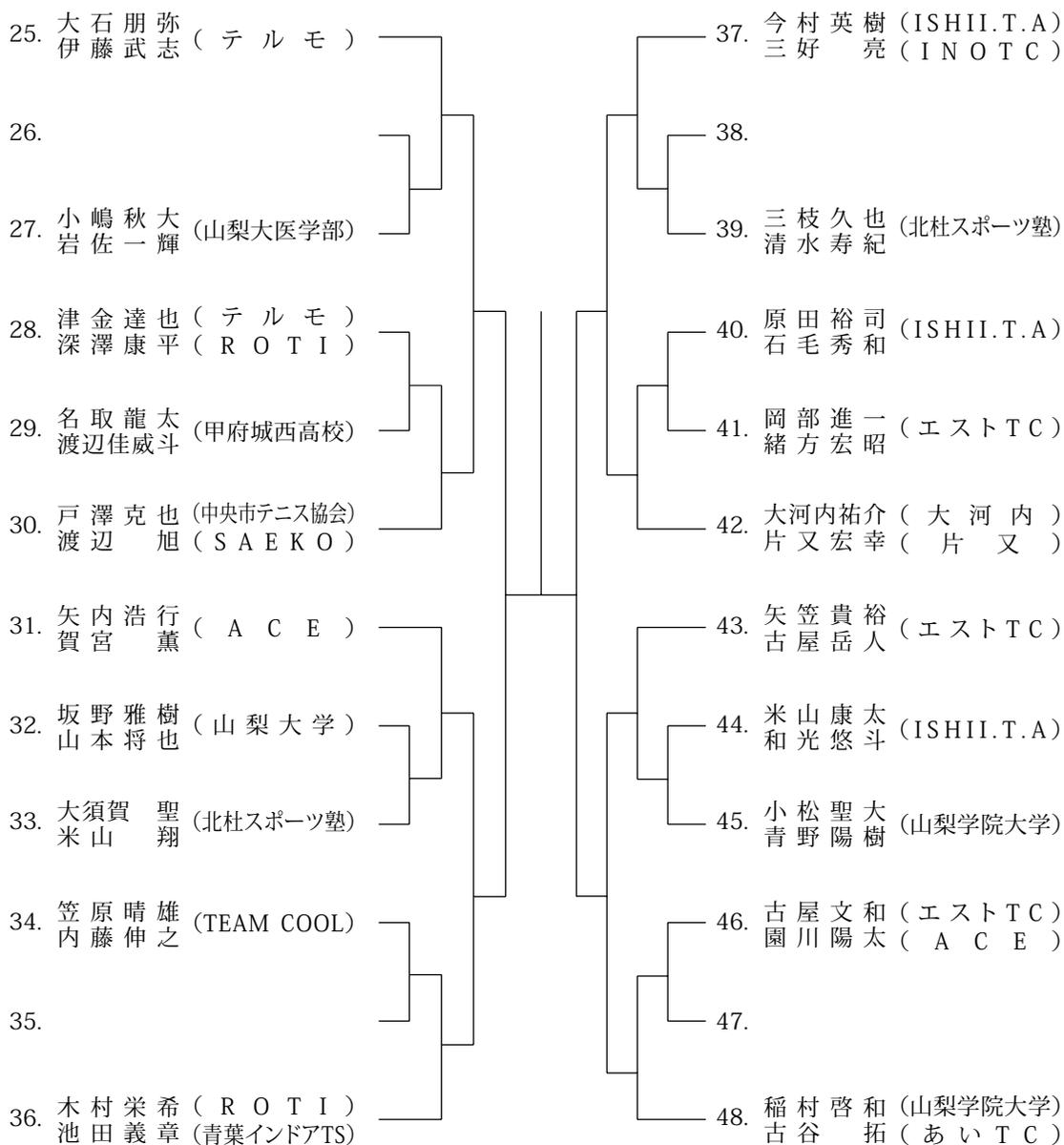
■男子シングルス



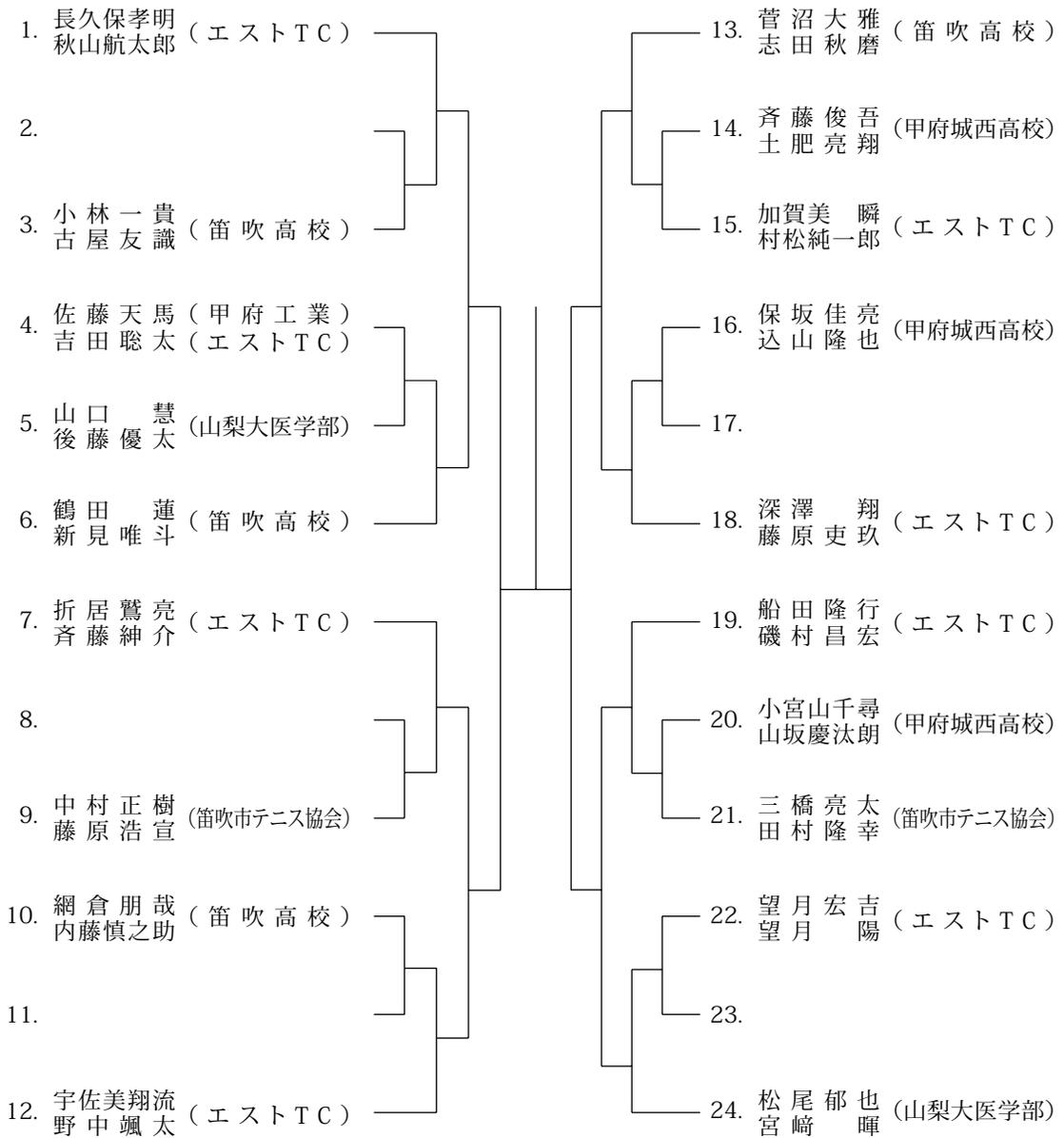
■ 男子ダブルス AB級



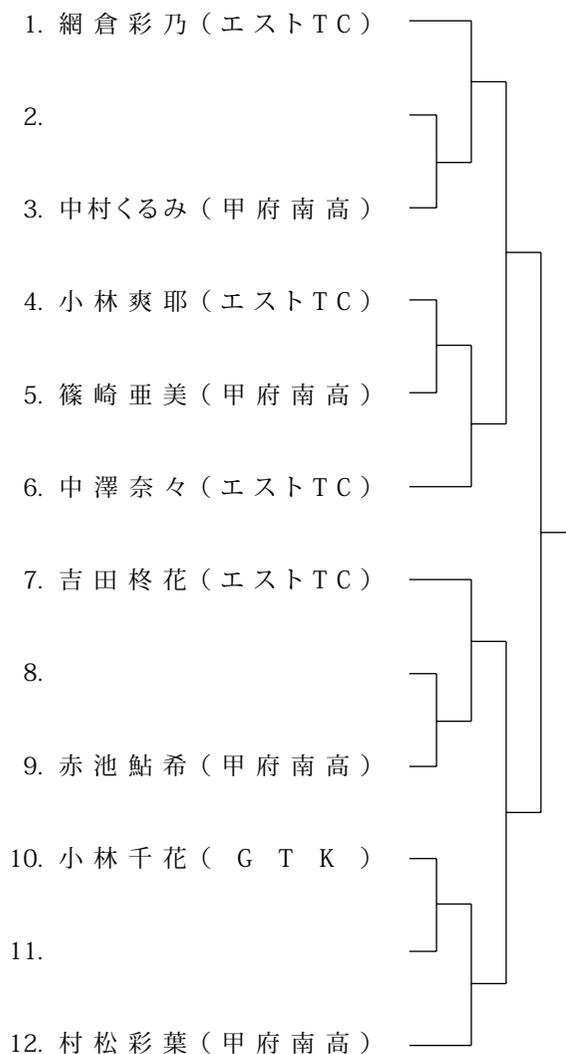
■ 男子ダブルス AB級



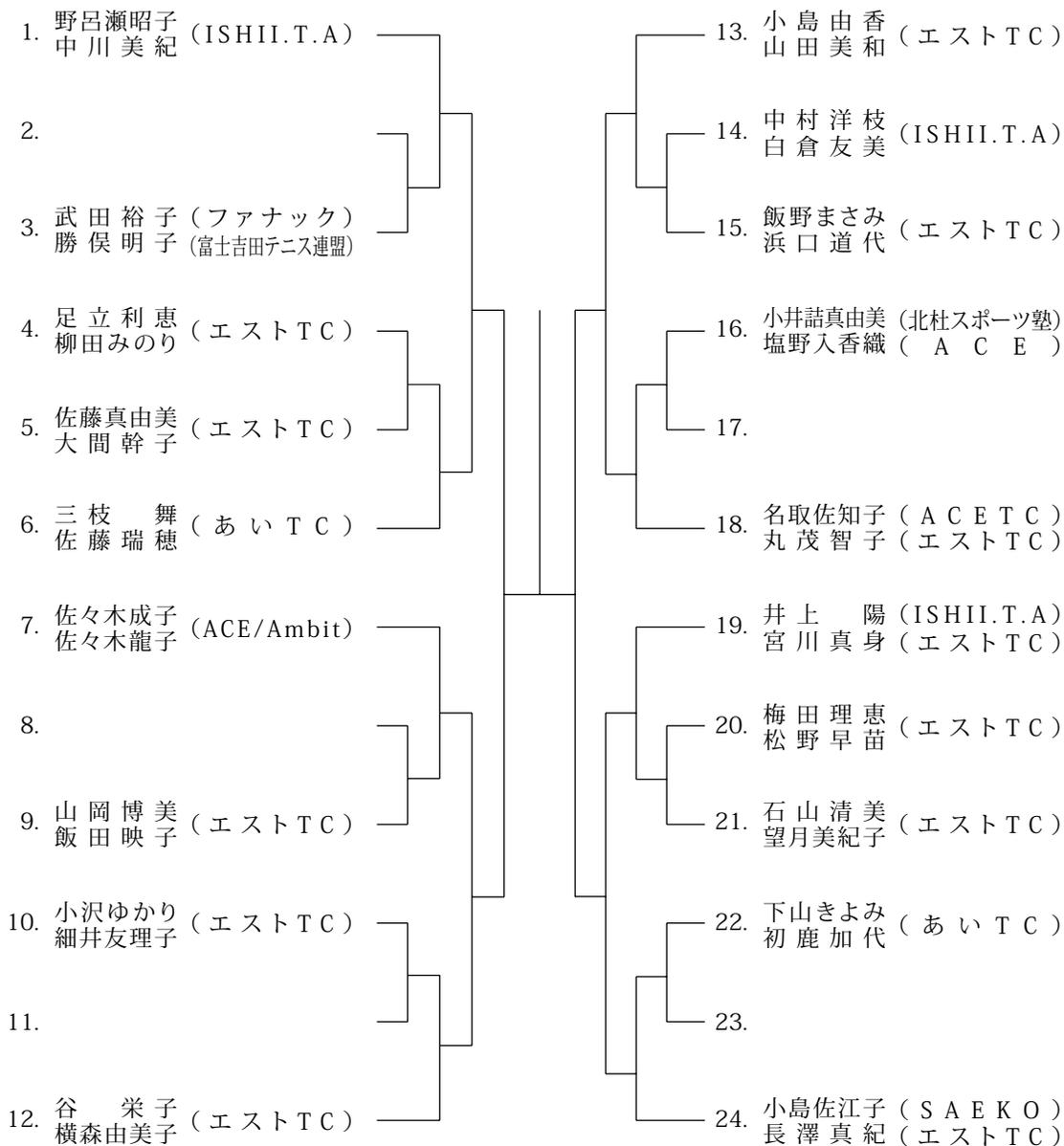
■ 男子ダブルス CDE級



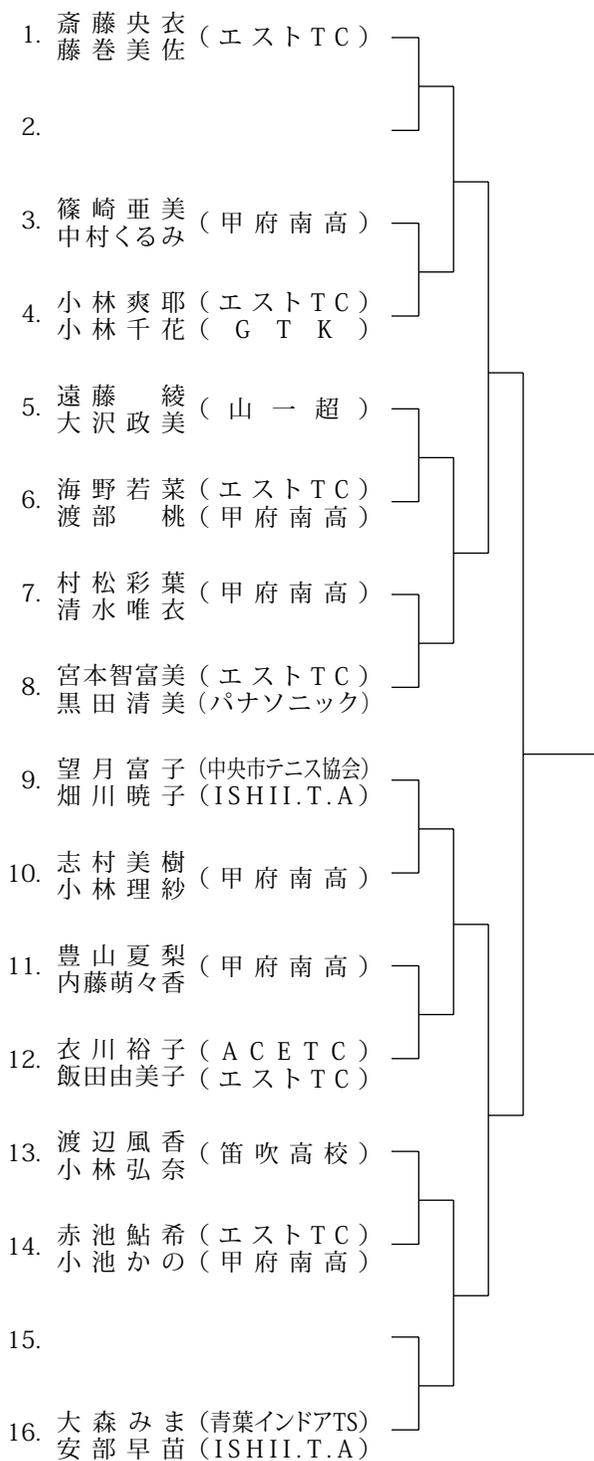
■ 女子シングルス



■ 女子ダブルス AB級



■ 女子ダブルス BCDE級



■ 男子45歳以上ダブルス

Aパート

	1. 伊丹 武 (東京エレクトロニック) 佐野 健 (県庁TC)	2. 矢内浩行 (ACE) 賀宮 薫	3. 萩原公康 (富士吉田テニス連盟) 飯田克敏	勝敗	順位
1. 伊丹 武 (東京エレクトロニック) 佐野 健 (県庁TC)					
2. 矢内浩行 (ACE) 賀宮 薫					
3. 萩原公康 (富士吉田テニス連盟) 飯田克敏					

Bパート

	1. 中込昌二 (GHIBLI) 石澤祐一	2. 保坂史樹 (ROTI) 高野武仁 (青葉インドアツ)	3. 小林 修 (甲斐市テニス協会) 小林秀徳 (INOTC)	勝敗	順位
1. 中込昌二 (GHIBLI) 石澤祐一					
2. 保坂史樹 (ROTI) 高野武仁 (青葉インドアツ)					
3. 小林 修 (甲斐市テニス協会) 小林秀徳 (INOTC)					

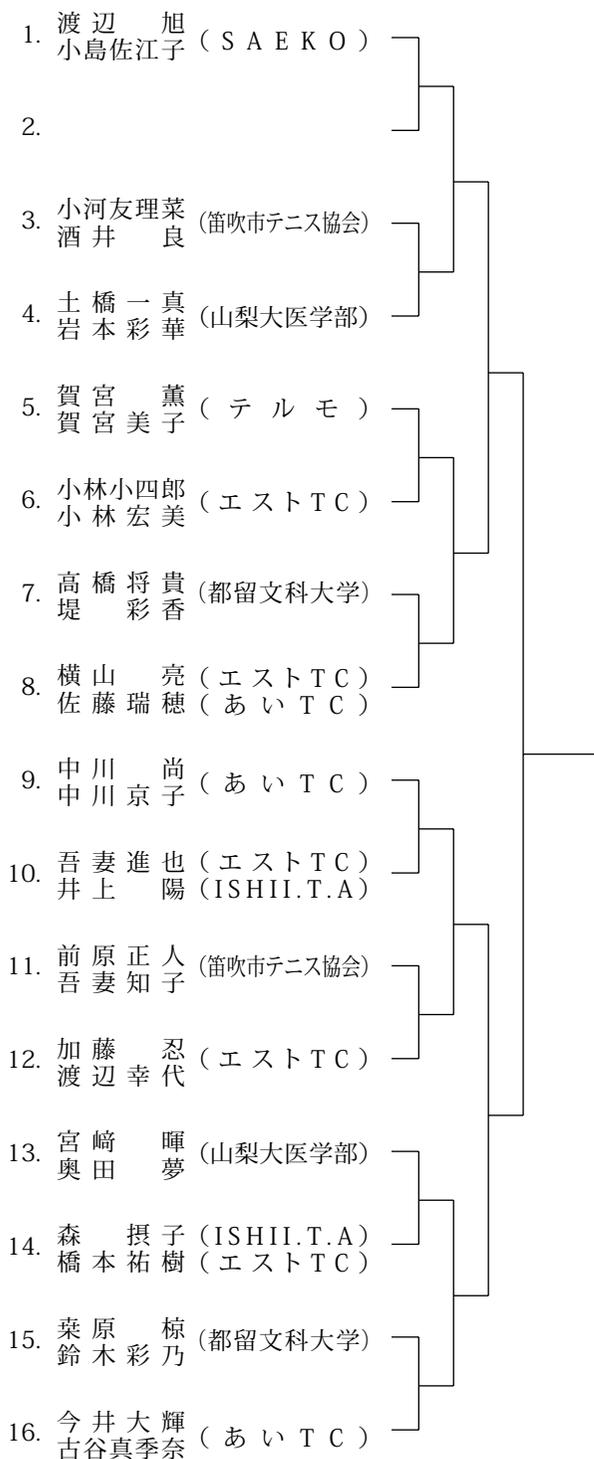
1位・2位決定トーナメント

A1位

B2位



■ MIXダブルス



平成30年度 第53回

山梨県テニス選手権大会要項

※詳細はホームページ参照

- 1 主催 山梨県テニス協会
- 2 主管 山梨県テニス協会
- 3 会場 小瀬スポーツ公園庭球場 他
- 4 期日 2018年8月12、19、26日 9月2、9日、23日(予備日)
- 5 種目 男子シングルス A級、B級、C級、D級、E級 男子ダブルスA級、B級、C級、D級、E級
女子シングルス A級、B級、C級、D級、E級 女子ダブルスA級、B級、C級、D級、E級
ミックスダブルス I級：I+I以外の級=I級 他はJ級
※I、J級のどちらかが7本以下の場合是一緒になります。連絡はしません。
35歳以上男子、女子G級、H級シングルス、ダブルス(女子はGHなし) 昭和58.12.31前
45歳以上男子、女子シングルス、ダブルス 昭和48、12、31前
55歳以上男子、女子シングルス、ダブルス 昭和38、12、31前
★A～E級は一つの級の選択になります(単復の級は違って良い)。
年齢別、ミックスとのダブリは可能です。
- 6 参加資格 (1)山梨県テニス協会登録会員 (2)山梨県内居住者 (3)山梨県大会継続参加経験者
(1)と(2)か(1)と(3)のセット条件を満たす者でなければならない。
- 7 使用球 ダンロップフォートイエロー
- 8 試合方法 8ゲームマッチセミアドバンテージ方式(8-8タイブレイク) セルフジャッジ
- 9 参加料 1チーム ¥3,000円 **D、E級<セットボール>：2000円**
但し高校生以下だけで編成のチーム A級：2000円 B、C級：1500円 D、E級：1000円
- 10 申込方法 一般は事務局に直接持参か現金書留郵送によること<高校生以下はFAX、メールOKです>
- 11 申込締切 7月19日(木) 12:00まで
- 12 申込場所 〒400-0822 甲府市里吉1-9-8 TEL・FAX 055-223-2743
- 13 級の資格及びポイント **◆この大会のA級資格及び各級ポイントはホームページから確認してください。**
- 14 スタート日(スタートの予定だけです)
8月12日⇒男子・女子シングルス、A級、B級、D級、E級
8月19日⇒男子・女子35才以上シングルス
8月26日⇒男子・女子ダブルス、A級、B級、C級、D級、E級
9月2日⇒男子シングルスC級、男子・女子45才以上シングルス
9月9日⇒男子・女子35才以上ダブルス、45歳以上ダブルス、55歳以上ダブルス
9月23日⇒ミックスダブルス 55歳以上シングルス
- 15 その他 *試合は1日3試合を基本としますが、申し込み本数により無理の場合もありますので、あらかじめ御了承ください。また、勝ち上がった選手は数日間に渡りますので、御承知ください。

※不明な点等ございましたら大会本部☎09030078769(問い合わせ)へ聞いて下さい。